2025年度　看護福祉学部医療福祉学科　カリキュラムマップ

2025.4.1

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）
●DP1. 深い人間理解に基づく倫理観・使命感を持ち、多様な価値観を受容し、人間の尊厳を守ることができる。	CP4. 専門職業人として相応しい倫理観を修得し、人々の多様性や個性を尊重する姿勢を養うために、初年次から段階的に演習科目や実習科目を配置する。
◆DP2. 保健医療や社会福祉に関わる問題を発見し、多職種・多機関による連携・協働を通して、解決に向け取り組むことができる。	CP5. 医療福祉分野におけるチーム医療、地域包括支援、多職種連携について理解を深め、多様な場における医療福祉を支援し、高齢化や人口減少等、地域の諸課題を理解し解決するための方法を学ぶ科目を配置する。
■DP3. 学問の基礎的な知識にとどまらず、現代科学が到達した先端技術を身につけ、科学的根拠に基づいて判断することができる。	CP1. 大学における授業に主体的に取り組むための基礎的な科目を「基礎教養科目」「共通基盤科目」に配置する。また、ソーシャルワークの専門的な学習を、学年進行に従い体系的に進めることができるように、「専門科目（専門基礎科目）」「専門科目（基幹科目）」「専門科目（展開科目）」「専門科目（発展科目）」を配置する。
▼DP4. 社会福祉に関する専門知識や技術を、地域社会の発展と、よりよい共生社会を構築するために活かすことができる。	CP2. 現代社会の抱える問題を社会福祉、精神保健福祉、介護福祉の視点から総合的に捉え、解決に導く能力や知識を身につけるために必要な科目を配置する。
	CP3. 医療保健機関や各種法人、事業所等における様々な実習により、医療や福祉の分野でソーシャルワーカーとして必要な支援を実践できる能力を身につけるための科目を配置する。
▲DP5. 社会福祉の理念を基軸に、様々な学問分野の知見を活用し、地域社会の発展に貢献するために主体的な行動ができる。	CP6. 社会福祉を学んだ者が活躍する現場は多岐に渡るため、アクティブラーニングを取り入れた科目や、演習科目、実習科目、キャリア形成を実践的に学ぶ科目を配置する。
	CP7. 行政機関をはじめ、各種法人、団体、民間企業等で、医療福祉分野のみならず幅広い分野の専門知識を持って活躍できる能力を身につけるために、学園内大学・短期大学との単位互換・科目認定にて幅広い領域の科目を複数配置する。

	基礎教養科目 ●◆■				共通基盤科目●◆■		専門科目															
	人間系	社会系	自然系	コミュニケーション系			専門基礎科目●■▼	基幹科目■▼							展開科目■▼▲			発展科目■▼▲				
4年次					医療と福祉の英語						司法福祉論				ゼミナールⅡ（卒業試験を含む） 医療福祉総合	医療福祉特別講義	精神保健福祉援助演習Ⅲ		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	精神保健福祉援助実習		
3年次					キャリアデザイン			日常生活支援技術演習Ⅹ 日常生活支援技術演習Ⅸ 日常生活支援技術演習Ⅷ	介護過程Ⅴ		権利擁護と成年後見 ※保健医療論 福祉経営論 ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	精神保健福祉制度論 精神保健の課題と支援Ⅱ 精神保健の課題と支援Ⅰ 精神障害リハビリテーション論 精神医学	精神保健福祉の原理Ⅱ 精神保健福祉の原理Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ	ゼミナールⅠ リハビリテーション医療 医療保健制度論	ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク演習Ⅳ	精神保健福祉援助演習Ⅱ 精神保健福祉援助演習Ⅰ	介護総合演習Ⅳ	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	※※ソーシャルワーク実習Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅰ	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	注）精神保健福祉士科目の履修者は、社会福祉士科目を履修している者から選考となる。 精神保健福祉援助実習を履修するには、ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱを修得している必要がある。 ※※介護福祉士国家試験受験資格に必要なすべての科目を履修している場合、免除となる。
2年次			※統計学		行政法 民法 臨床心理学 障害児・者福祉 地域共生社会に向けた多職種連携	カウンセリング 公衆衛生学 社会保障論Ⅰ 人間関係論	※ソーシャルワークの基盤と専門職（専門） 社会保障論Ⅱ ※社会調査論	介護の基本Ⅵ 介護の基本Ⅴ 介護の基本Ⅳ 高齢者と健康	介護過程Ⅳ 介護過程Ⅲ 介護過程Ⅱ 日常生活支援技術演習Ⅶ 介護過程Ⅰ 日常生活支援技術演習Ⅵ 日常生活支援技術演習Ⅴ 認知症ケア論Ⅱ 日常生活支援技術演習Ⅳ 認知症ケア論Ⅰ	医療的ケアⅢ 医療的ケアⅡ 医療的ケアⅠ	貧困に対する支援 ※児童・家庭福祉論	地域福祉論 ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅰ		介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅱ	介護実習Ⅲ 介護実習Ⅱ	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	注）介護は※の中から、3科目以上選択
1年次	文学の世界 ※哲学 心理学 文章表現	※法学（日本国憲法） 社会学 ※医療と福祉のマネジメント	※基礎数学 ※生命科学 環境と人間生活	基礎演習 英語RS 英語CS 中国語 手話 情報リテラシー	エイジング論 健康と運動 組織論	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 社会福祉概論Ⅰ コミュニケーション論	※ソーシャルワークの基盤と専門職 医学概論 社会福祉概論Ⅱ	コミュニケーション技術Ⅱ コミュニケーション技術Ⅰ 介護の基本Ⅲ 介護の基本Ⅱ 介護の基本Ⅰ 人間の理解Ⅱ 人間の理解Ⅰ	生活支援技術論Ⅱ 生活支援技術論Ⅰ 日常生活支援技術演習Ⅲ 日常生活支援技術演習Ⅱ 日常生活支援技術演習Ⅰ	障害者福祉論	高齢者福祉論						介護総合演習Ⅰ	介護実習Ⅰ		

実習科目　学科必修科目　資格必修科目

- 介護
- 社幅
- 精神
- 社福・精神
- 介護・社福・精神